平成24年春季研究発表会見学会ルポ

福田恵美子（防衛大学校）

平成24年春季研究発表会（3月27，28日）にあわせて，3月29日に見学会が行われた．横須賀の地にちなんで「戦艦『三笠』と護衛艦に乗って学ぶ『坂の上の雲』と日本海海戦」というテーマで開催され，35名を超える参加者があった．

午前中は，記念艦三笠を見学した．「元帥東郷平八郎」特別展が催されている艦内は，平成21年から平成23年まで年末に放映されていた「坂の上の雲」の影響もあり，朝早くから一般の見学客で賑わっていた．

まず，船首側に位置する講堂において，防衛大学校名誉教授である田中宏巳氏に「日本海海戦と連合艦隊司令部」という演題でご講演いただいた．この講演会は一般公開としたため，見学会の受付の準備が整うか整わないかという早い時間から，市民の方が来場するなど盛況だった．講演後には約20分のビデオが上映され，その後，3組に分かれて艦内を見学した．東郷元帥が実際に着用されていたという服装・靴や船内装備品，書簡などを一時間程度見学し，出入り口前で三笠を背景に記念撮影をした．

三笠前にて記念撮影

昼食は，横須賀散策を兼ねて自由にとれるよう計画されていたが，オプションとして横須賀海軍カレーの昼食会を企画した．横須賀の老舗，魚藍亭での元祖よこすか海軍カレーの昼食には30名余の参加があり，賑やかな会食となった．

午後は，三笠前から海上自衛隊横須賀基地のバスに乗り込み，一路，護衛艦見学へ向かった．当日，見学できたのはDD-129やまゆき．

2組に分かれ，それぞれ自衛官の案内のもと，装備品，艦長室をはじめとする艦内を見学した．隣の試験艦に積まれている装備品との違いや，掲げられている旗の意味等，素朴な疑問にも丁寧に応対してもらえ，さらに，ほとんどの場で写真撮影が可能とあって，参加者はカメラを手に見学を楽しんだ．

やまゆきから基地入口までは停泊している他の護衛艦，対岸の米軍基地に停まっている潜水艦を眺めながら徒歩で戻り，解散となった．自由に撮影させているようでいて対岸の米軍基地にカメラを向けるとすかさず注意をし，急な階段などに気を配る，さすがの監視力を持つ自衛官のおかげで，安全に楽しく見学できた．

やまゆきにて説明を聞く参加者達

最後に，今回の見学会にあたって多大なるご協力をいただきました三笠保存会の皆様，横須賀市広報課の方々，田中宏巳先生，および海上自衛隊横須賀基地広報係の皆様に心より感謝申し上げます．